

事業番号	交付対象事業名	健康の町「かがみの」アウトドアから広がる地域の賑わいプロジェクト						担当部課名	産業観光課
1								事業始期	令和5年4月
								事業終期	令和10年3月

1. 事業事業の概要

事業の概要:目的						事業の概要:交付金を充当する経費内容			
観光地域づくり方針(DMO)による観光推進体制を基軸として、コンセプトに基づいた戦略的な情報発信・プロモーションの核となる観光総合システムを構築すると共に、現状のアウトドア・アクティビティ体験を提供できる体制をより強化し、観光庁が推進するアドベンチャーツーリズムの実現に向けた受入環境整備を行う。健康のまち鏡野町のコンセプトに基づいた魅力の高い売れる商品の開発・販売等を行い、「鏡野ウェルネス」のブランド化を目指す。						専門的な人材や観光マネジメントの専門家等を配置し、観光地域づくり法人の推進体制を確立する。観光公式ウェブサイトを核として、会員制ファンクラブ会員証等のデジタル化や会員管理、キャッシュレスに対応した旅行商品等の販売など、一元的な観光総合システムを構築し、スマートフォンをメインとしたWebサービスやデジタル及び紙媒体による情報提供、マーケティングデータの活用など、システムの管理・運営を行う。カヤックやE-BIKE、スノーシュー等、体験に必要な物品の整備を始め、動画コンテンツやコースMAPの作成、研修会や資格取得による案内人やインストラクターの育成等、受入環境整備を行う。			

2. 事業事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		③対象数の推移			単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町を訪れる観光客	→	ア	観光入込客数	千人	見込実績	850 948	828	857 791	875
イ	町内の観光による経済効果		イ	旅行消費額	千円	見込実績	442,000 425,000	455,000	485,000 475,000	485,000
ウ			ウ			見込実績				

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		④成果指標(意図の達成度)			単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	アウトドアアクティビティを体験してもらう	→	ア	アウトドアアクティビティ等自然体験受入人数	人	目標 実績 達成率	9,500 9,500 100.0%	10,500 9,658 92.0%	11,500 10,396 90.4%	13,000
イ	アウトドアアクティビティ受入れにより経済効果を高める		イ	アウトドアアクティビティ等自然体験受入による経済効果	千円	目標 実績 達成率	71,250 71,250 100.0%	81,250 68,405 84.2%	91,250 80,732 88.5%	106,250
ウ	リピーターを増やす		ウ	かがみの里山健康クラブ会員数	人	目標 実績 達成率	5,200 5,200 100.0%	6,000 6,020 100.3%	7,000 6,490 92.7%	8,500
エ	ホームページを訪れてもらう		エ	観光公式ホームページアクセス数	件	目標 実績 達成率	135,000 135,000 100.0%	140,000 169,000 120.7%	150,000 173,000 115.3%	160,000

3. 事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	1	一般会計	款	07	商工費	項	01	商工費	目	03	観光費
内訳	国庫支出金			県支出金			町 債		その他特財		一般財源	
予算(千円)	21,425										合計	
決算(千円)	21,425								21,425		42,850	
主な 支出事業内容 (予 算)	DMO運営事業			28,000 千円		主な 支出事業内容 (決 算)	DMO運営事業			28,000 千円		
	観光システムの構築・運営			8,580 千円			観光システムの構築・運営			8,580 千円		
	アドベンチャーツーリズム受入環境整備			6,270 千円			アドベンチャーツーリズム受入環境整備			6,270 千円		

4. 検証結果

①成果実績の目標達成度とその要因						②地方創生に対する事業効果					
<input type="checkbox"/> 目標値以上 <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標以下						アウトドア体験等については、増加したもののみずの郷奥津湖案内所の改修や令和5年8月台風7号豪雨により自然体験スポットが被災したことから、目標値は下回った。かがみの里山健康クラブ会員数についても、増加したものデジタル会員への移行により更新しない会員も一定数いたため、目標値を下回った。HPアクセス数は魅力ある動画コンテンツの作成や発信により、順調に伸びていて、目標値を達成することができた。今後は閲覧者を誘客に繋げるようにしていくことが必要である。					
						<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった					
③今後の課題解決のための改革改善の方法											
令和7年度より、みずの郷奥津湖総合案内所の指定管理を鏡野観光局が担うことから、奥津湖面を利用した自然アクティビティを推進できる環境が整ったためより効果的な取組を行い成果を上げる必要がある。また、継続して自然アクティビティ体験を実施できるようインストラクターの人材確保や育成をする。 DXの推進をするため、デジタル会員証への移行などファンクラブ会員のより一層のデジタル化を誘導する。 鏡野観光局は、一定の成果を地域事業者にも示しながら、地域の観光事業等を新規会員として加入促進をする。 インバウント観光も必要性が増してたため、ターゲットを絞り、プロモーションを行う。											
④評価委員会の意見						⑤戦略KPIに対する事業効果					
奥津湖オープンにともない、観光客も増えていると思う。戦略の交流人口のPKIを倍くらいにしてもいいのではないか。						<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない					